

科目名	使用教科書・副教材等	単位数	学科・学年
工業「建築計画」	建築計画(実教出版)	2単位	建築科・第1学年

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	<p>1 建築物の室内環境や外部環境を学習し、人間が快適に暮らすための建築物に及ぼす影響を理解する。</p> <p>2 住んでいる町に興味・関心を持ち、そこで暮らす人々の生活や自然環境などを科学的に捉える力を身につける。</p>
---------	--

2 学習計画等

学期	学習内容	月	学習のねらい	考查
1学期	<p>1 建築と環境</p> <p>(1) 建築と環境の概要</p> <p>(2) 屋外環境と室内環境</p> <p>(3) 換気と通風</p> <p>(4) 伝熱と結露</p> <p>(5) 日照と日射</p>	4	<ul style="list-style-type: none"> ・建築物に求められる条件を、的確に把握するための基本的な手法を学ぶ。 ・把握された条件をもとに、建築空間をつくり出す基本計画を立案する手法を学ぶ。 ・室内空気の快適状態に保つ基本を学ぶ。 ・建築物の各部分で起きる熱の移動のしくみを理解し、快適な室内気候を得る方法を学ぶ。 ・日照を確保し、活用するための基本事項と日射が建築物に与える影響について学ぶ。 	中間
		5		
		6		期末
		7		
2学期	<p>(6) 採光と照明</p> <p>(7) 色彩</p> <p>(8) 音響</p> <p>2 住宅の計画</p> <p>(1) 住宅の意義</p> <p>(2) 住宅計画の進め方</p>	8	<ul style="list-style-type: none"> ・太陽による採光と人工光源の照明を学ぶ。 ・色の表し方や色彩と心理、色彩計画を学ぶ。 ・音の性質を理解し、望ましい音響状態をつくり出す基本事項を学ぶ。 ・住宅の役割や種類のほか、住宅を構成する基本的な空間や住宅の性能を示し、その計画上の特質について理解させる。 ・住宅地に建つ標準的な独立住宅の計画を示し、建築計画の進め方について理解させる。 	中間
		9		
		10		期末
		11		
		12		
3学期	<p>(3) 全体計画</p> <p>(4) 各部の計画</p> <p>(5) 住宅の計画例</p>	1	<ul style="list-style-type: none"> ・独立住宅の敷地・平面・形状など各計画に当たり設計の具体化について理解させる。 ・住宅地に建つ木造の独立住宅を題材にして、建築計画の順序やエスキスなどを理解させる。 	学年末
		2		
		3		

3 評価規準及び評価方法

(1) 評価規準

	知識・技術	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
評価基準	・建築物の計画について住空間の快適性やエネルギーを踏まえて理解しているとともに、関連する技術を身に付けている。	・建築物の計画に関する課題を発見し、技術者として科学的な根拠に基づき工業技術の進展に対応し解決する力を身に付けている。	・安全で快適な建築物を計画する力の向上を目指して自ら学び、建築の発展に主体的かつ協働的に取り組もうとしている。

(2) 評価方法

	知識・技術	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
方法	定期考査に加えて、平常の学習活動、ノート・プリント・課題などの提出物、授業中の小テストなどで評価します	ワークシート、話し合い、論述、発表、各種建築物の設計課題などで評価します。	ワークシート、グループワーク、発表、設計課題などで評価します。

4 確かな学力を身に付けるためのアドバイス

<p>・私たちはさまざまな建築物を利用しながら生活しているので、身近なところで学習した内容を確かめられます。そういう姿勢を身に付ければ学んだ内容を理解でき、活用できる力を身に付けることができます。</p> <p>・常に問題意識や探求心を持つことが大切です。疑問点を自分から進んで調べたり、考察する意欲や態度が専門性を楽しくしてくれます。</p>
--